

# 5

## 安全・医療



<b>出火件数</b>	年間 2753件	5-01
<b>火災損害額</b>	年間 45億977万円	5-02

**指標** 2011年1年間の神奈川県の出火件数は2753件です。2001年以降で出火件数が最も多い年は2004年の3363件であり、2000年代前半は3000件を上回る年がみられますが、2005年以降は3000件を下回っています。

2011年の火災損害額は、45億977万円です。2001年以降では2006年、2008年に次いで3番目に少なくなっています。また、この間で火災損害額が最も多い年は2005年の84億4720万円です。

**この統計は** [県勢要覧] 県消防課調

**用語** 出火件数

出火件数とはすべての火災（建物、林野、車両、船舶、航空機及びその他）の総件数をいいます。

火災損害額とは、火災損害を金額で表したもので、り災地における時価により算出。火災損害とは、火災によって受けた直接的な損害をいい、消火のために要した経費、焼跡整理費、火災のための休業による損失等の間接的な損害は除きます。

<b>火災死者数</b>	年間 103人	5-03
<b>火災負傷者数</b>	年間 432人	5-04

**指標** 2011年1年間の神奈川県の出火死者数は103人です。2001年以降で火災死者数が最も多い年は2001年の116人、最も少ない年は2010年の75人です。2011年は、2007年と並んで2番目に多くなっています。

2011年の火災負傷者数は、432人です。2001年以降では最も少なくなっています。また、この間で火災負傷者数が最も多い年は2007年の576人です。

**この統計は** [県勢要覧] 県消防課調

**用語** 火災死傷者数

火災死傷者とは、火災を発生させた者、火災の発生に直接関係がある者及び消防協力者などの死者と負傷者の合計を指します。なお、すべての火災による死者及び負傷者のうち消防吏員及び消防団員の数を除いたものです。

<b>建物焼損棟数</b>	年間 1904棟	5-05
<b>建物焼損床面積</b>	年間 3万4296㎡	5-06

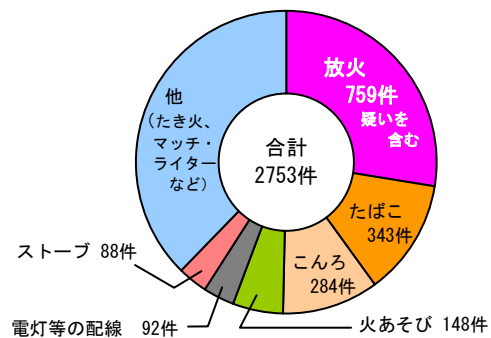
**指標** 2011年1年間の神奈川県の出火焼損棟数は、1904棟です。

2001年以降では2010年、2009年に次いで3番目に少なくなっており、2009年以降は3年連続で2000棟を下回っています。また、この間で建物焼損棟数が最も多い年は2004年の2416棟です。

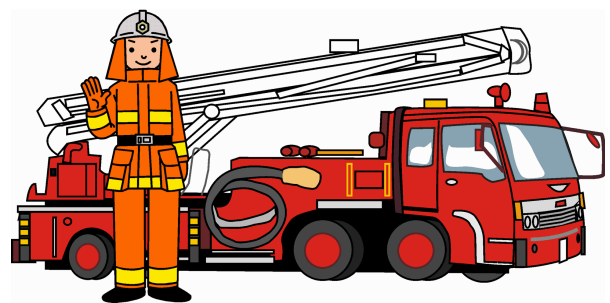
2011年の建物焼損床面積は、3万4296㎡で、2001年以降では2010年の3万1841㎡に次いで2番目に少なくなっています。また、この間で建物焼損床面積が最も多い年は2003年の6万4031㎡です。

**この統計は** [県勢要覧] 県消防課調

**出火原因（2011年）**



[県勢要覧2012] から作成

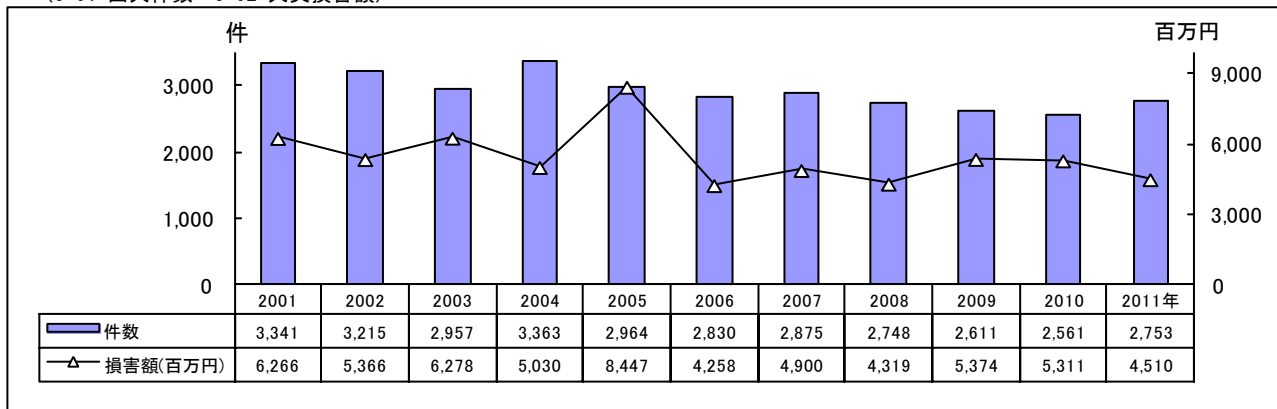


**統計情報 県勢要覧**

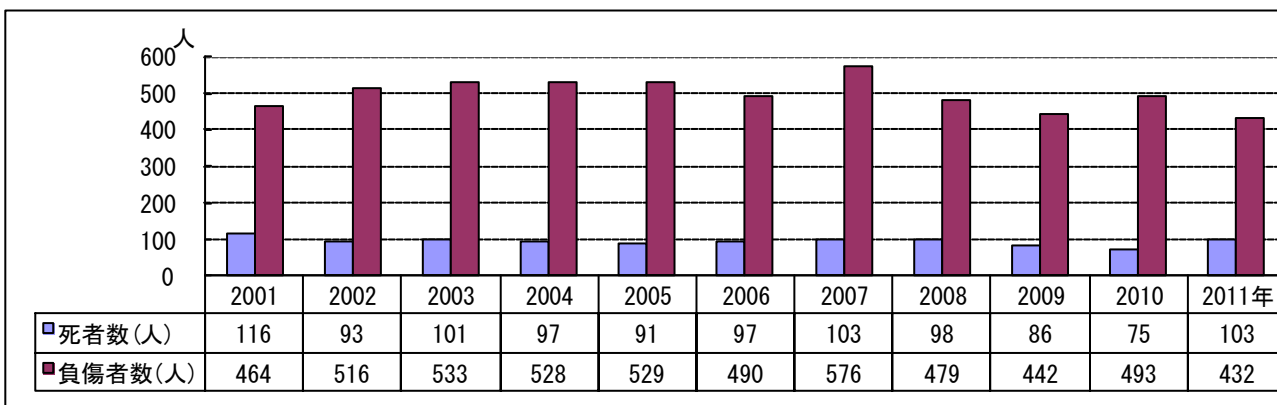
県勢要覧 [県統計センター]  
 発行周期：毎年  
 神奈川県土地、人口、経済、社会などの各分野にわたる統計を収録したものです。  
 (県勢要覧の各分野) 気象・地震、土地、人口、労働、事業所、

農林水産業、工業、商業・サービス業、貿易、金融、家計・物価、建設・住宅、電気・ガス・水道、運輸・通信・道路、財政、県民経済計算、公務員・選挙、福祉・社会保障、保健・衛生、環境、災害・事故、司法・警察、基地、教育、観光・文化、国際化

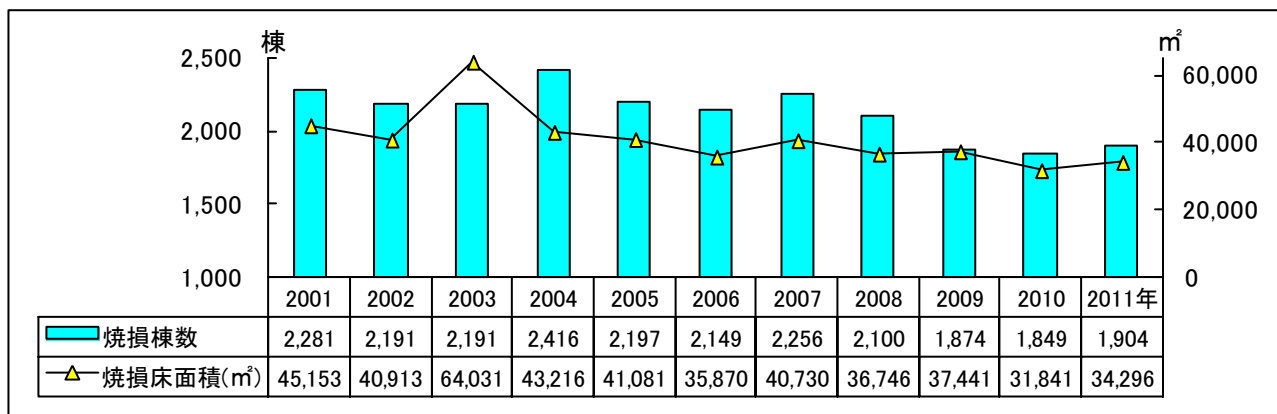
(5-01 出火件数 5-02 火災損害額)



(5-03 火災死者数 5-04 火災負傷者数)



(5-05 建物焼損棟数 5-06 建物焼損床面積)



(5-01~5-06 県勢要覧)

## 注釈

5-01~5-06

- 1) 各年1月1日~12月31日の集計。
- 2) 火災に関する集計。

**交通事故件数** 年間 3万8800件 <sup>5-07</sup>

**指標** 2011年1年間の神奈川県 of 交通事故件数は3万8800件です。

10年前の2001年の6万9097件より3万297件（△43.8%）少なくなっています。

この10年間でみると、毎年減少しています。

**この統計は** [県勢要覧] 県警察本部調  
[交通事故統計]

**用語** 交通事故

交通事故とは、道路交通法に規定されている道路において、車両(自転車などの軽車両も含む。)、路面電車及び列車の交通によって起こされた人の死亡又は負傷を伴う事故をいいます。よって、踏切事故は含まれますが、その他の列車事故は含まれません。なお、多重事故は1件としてカウントします。

**交通事故負傷者数** 年間 4万6226人 <sup>5-10</sup>  
**人口10万人当たり交通事故負傷者数** 年間 510.2人 <sup>5-11</sup>

**指標** 2011年1年間の神奈川県 of 交通事故負傷者数は4万6226人です。

10年前の2001年の8万4452人より3万8226人少なく、人口10万人当たり510.2人と2001年（人口10万人当たり984.8人）の約半数となっており、2001年以降で最も少なくなっています。また、この10年間でみると、交通事故件数と同様に毎年減少しています。

**この統計は** [県勢要覧] 県警察本部調  
[交通事故統計]

**用語** 交通事故負傷者

交通事故によって傷害（重傷と軽傷）を負った者をいいます。なお、重傷とは30日以上（医師の診断）の治療を要する者をいい、軽傷とは30日未満（医師の診断）の治療を要する者をいいます。

**交通事故死者数** 年間 180人 <sup>5-08</sup>  
**人口10万人当たり交通事故死者数** 年間 2.0人 <sup>5-09</sup>

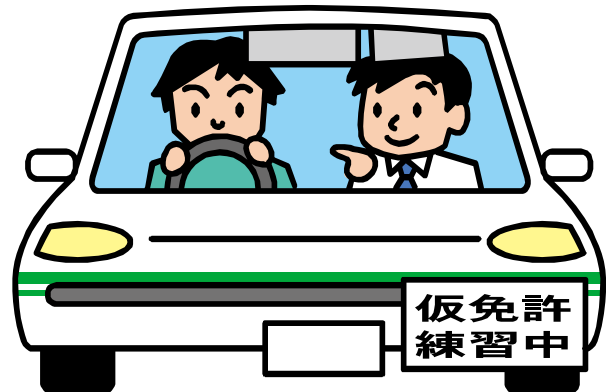
**指標** 2011年1年間の神奈川県 of 交通事故死者数は180人です。

10年前の2001年の324人より144人少なく、人口10万人当たり2.0人と2001年（人口10万人当たり3.8人）の約半数となっています。また、2001年以降で2002年が376人（人口10万人当たり4.4人）と最も多くなっており、2008年以降は毎年200人未満となっています。

**この統計は** [県勢要覧] 県警察本部調  
[交通事故統計]

**用語** 交通事故死者

交通事故の発生後24時間以内に死亡した者をいいます。

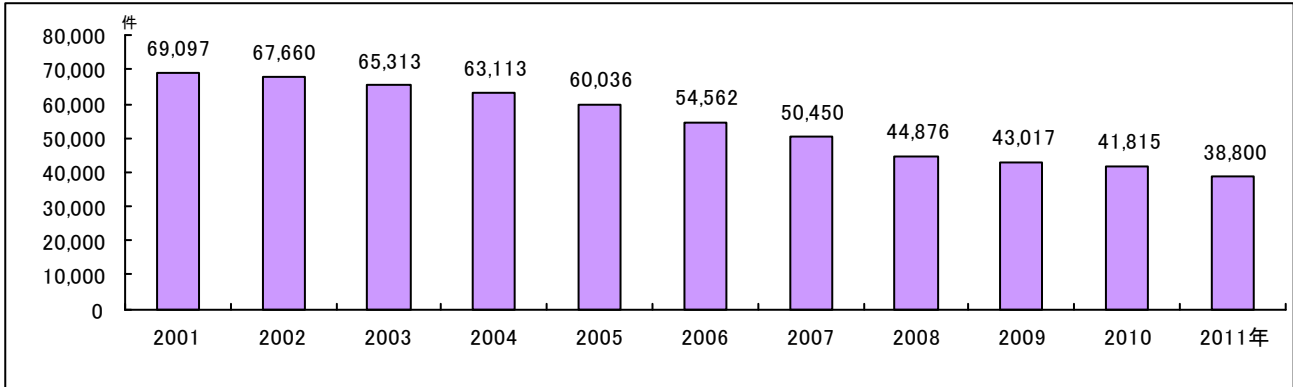


**統計情報** 県勢要覧

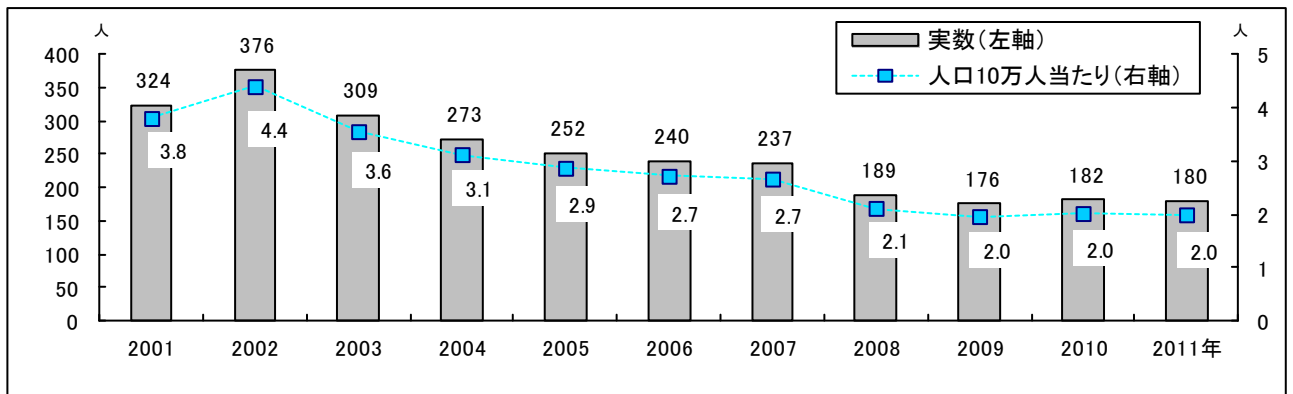
県勢要覧 [県統計センター]  
発行周期：毎年  
神奈川県 of 土地、人口、経済、社会などの各分野にわたる統計を収録したものです。  
(県勢要覧の各分野) 気象・地震、土地、人口、労働、事業所、

農林水産業、工業、商業・サービス業、貿易、金融、家計・物価、建設・住宅、電気・ガス・水道、運輸・通信・道路、財政、県民経済計算、公務員・選挙、福祉・社会保障、保健・衛生、環境、災害・事故、司法・警察、基地、教育、観光・文化、国際化

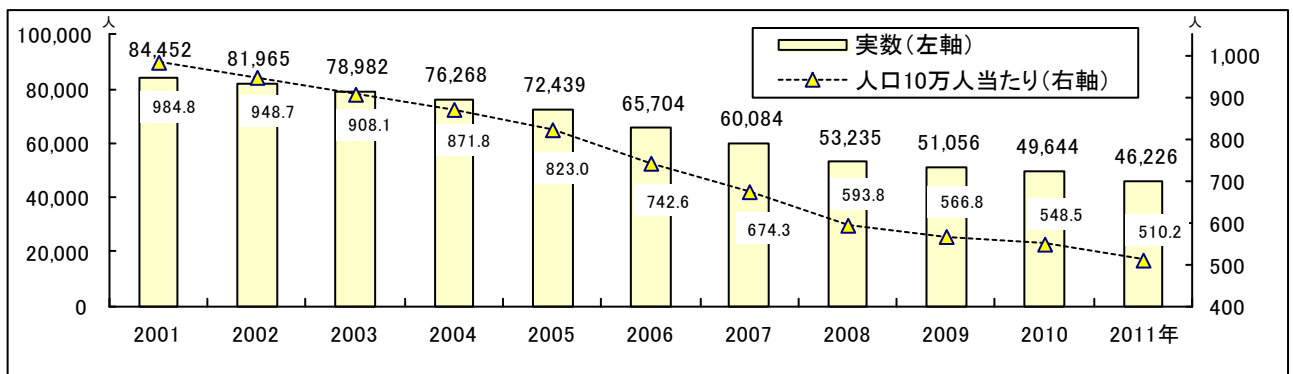
(5-07 交通事故件数)



(5-08 交通事故死者数 5-09 人口10万人当たり交通事故死者数)



(5-10 交通事故負傷者数 5-11 人口10万人当たり交通事故負傷者数)



(5-07~5-11 県勢要覧、交通事故統計)

**統計情報** 交通事故統計

交通事故月報[県くらし安全交通課]  
 交通事故の発生状況[県警察本部交通総務課]  
 公表周期：毎日、毎月  
 県内の交通事故発生状況については、「昨日までの交通事故」として、くらし安全交通課から毎日発表されています。

**注釈**

- 5-07~5-11  
 1) 各年1月1日~12月31日の集計。  
 5-09, 5-11 人口10万人当たり死者数  
 1) 人口10万人当たりの死者数(負傷者数)は、交通事故死者数(負傷者数)を総人口で除したものの。  
 2) 総人口は翌年1月1日現在。

刑法犯認知件数	7万6511件	5-12
検挙件数、検挙率	2万7855件、36.4%	5-13 5-14

**指標** 2012年1年間の神奈川県内の刑法犯認知件数は7万6511件です。

2002年以降で最も少なく、昨年より9148件(△10.7%)減少しています。

また、刑法犯認知件数が最も多い2002年の19万173件より11万3662件(△59.8%)減少しています。

2012年の検挙件数は2万7855件で検挙率は36.4%です。

検挙率は2011年より2.6ポイント減少しています。この10年でみると、2004年までの検挙率は20%台でしたが、2005年以降は30%を毎年越えています。

**この統計は** [県勢要覧] 県警察本部調  
[犯罪統計書]

**用語** 刑法犯認知件数

ここでいう刑法犯とは、刑法犯総数から道路上の交通事故に係る業務上(重)過失致死傷罪を除いたものをいいます。

認知件数とは、犯罪について被害の届出、告訴、告発、その他の端緒によりその発生を警察において認知した件数です。

刑法犯少年検挙・補導数	6326人	5-15
-------------	-------	------

**指標** 2011年1年間の神奈川県内の刑法犯少年検挙・補導数は6326人です。

2001年以降で最も少なく、6年連続で減少し、昨年より265人(△4.0%)減少しています。

また、刑法犯少年検挙・補導数が最も多い2005年の1万900人より4574人(△42.0%)減少しています。

2011年の刑法犯少年検挙・補導数の学職別の内訳では中学生の2515人が最も多く、次いで高校生2219人、無職少年605人、有職少年462人の順です。

また、犯罪種別では窃盗犯が3297人で最も多くなっています。

**この統計は** [県勢要覧] 県警察本部調

**刑法犯少年検挙・補導数内訳** (単位:人)

	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
<b>2011年計</b>	<b>6,326</b>	<b>82</b>	<b>753</b>	<b>3,297</b>	<b>95</b>	<b>63</b>	<b>2,036</b>
小学生等	58	1	6	25	0	12	14
中学生	2,515	19	412	1,322	8	15	739
高校生	2,219	18	146	1,276	34	21	724
大学生	372	2	9	127	8	5	221
各種学校	95	0	6	33	0	2	54
有職少年	462	15	83	209	13	5	137
無職少年	605	27	91	305	32	3	147

**刑法犯の一覧**

(罪種)	(内訳罪名)	
凶悪犯	殺人	殺人罪、嬰兒殺、殺人予備罪、自殺関与罪
	強盗	強盗殺人罪(致死を含む。)、強盗傷人罪、強盗強姦罪(致死を含む。)、強盗罪・準強盗罪(強盗予備、事後強盗、昏酔強盗)
	放火	放火罪、消火妨害罪
	強姦	強姦罪、強姦致死傷罪
粗暴犯	凶器準備集合	凶器準備集合罪、凶器準備結集罪
	暴行	暴行罪
	傷害	傷害罪、傷害致死罪、現場助勢罪
	脅迫	脅迫罪、強要罪
窃盗犯	恐喝	恐喝罪
	窃盗	窃盗罪
知能犯	詐欺	詐欺罪、準詐欺罪
	横領	横領罪、業務上横領罪

(罪種)	(内訳罪名)	
知能犯	偽造	通貨偽造罪、文書偽造罪、支払用カード偽造罪、有価証券偽造罪、印章偽造罪
	汚職	賄賂罪(収賄罪・贈賄罪)、職権濫用罪(致死傷を含む。)
	あつせん利得処罰法	公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律に規定する罪
	背任	背任罪
風俗犯	賭博	普通賭博罪、常習賭博罪、賭博開帳等罪
	わいせつ	強制わいせつ罪(致死傷を含む。)、公然わいせつ罪、わいせつ物頒布等罪
その他	上記以外の罪種	

[犯罪統計書(平成23年の犯罪)より作成]

**統計情報** 県勢要覧

県勢要覧 [県統計センター]

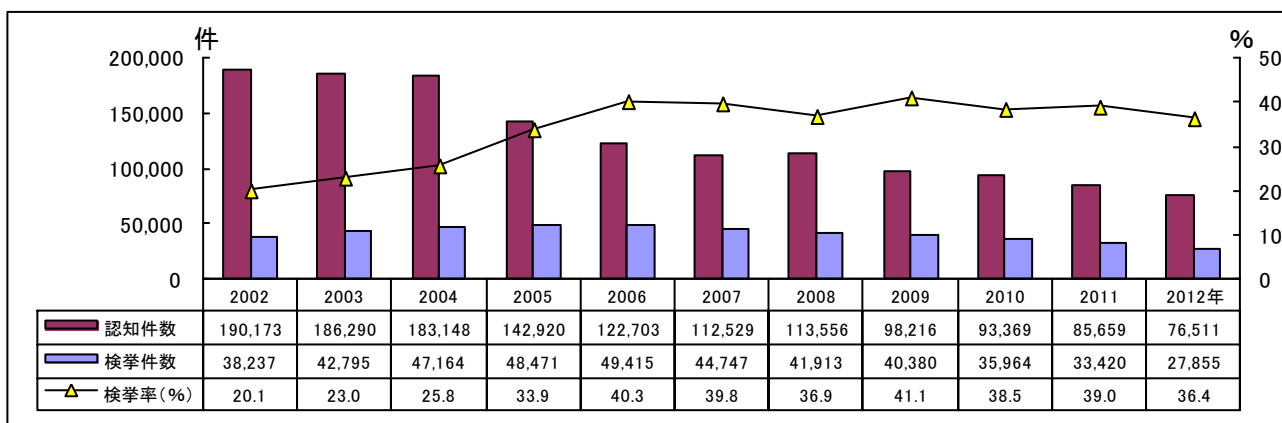
発行周期: 毎年

神奈川県内の土地、人口、経済、社会などの各分野にわたる統計を収録したものです。

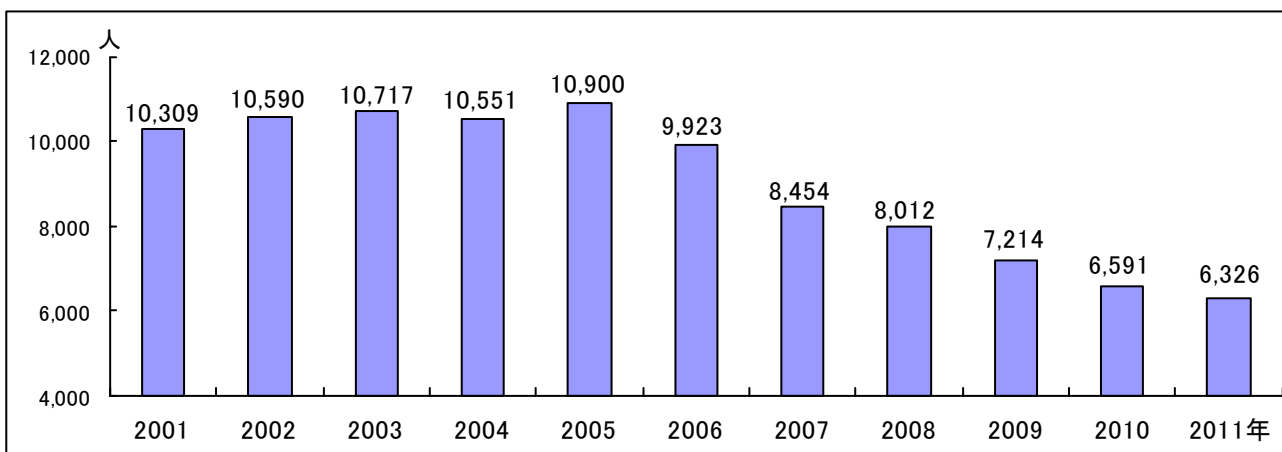
(県勢要覧の各分野) 気象・地震、土地、人口、労働、事業所、

農林水産業、工業、商業・サービス業、貿易、金融、家計・物価、建設・住宅、電気・ガス・水道、運輸・通信・道路、財政、県民経済計算、公務員・選挙、福祉・社会保障、保健・衛生、環境、災害・事故、司法・警察、基地、教育、観光・文化、国際化

(5-12 刑法犯認知件数 5-13 検挙件数 5-14 検挙率)



(5-15 刑法犯少年検挙・補導数)



(5-12~5-14 県勢要覧、犯罪統計書)  
(5-15 県勢要覧)



**統計情報** 犯罪統計書

犯罪統計書 [警察庁]  
公表周期：毎年  
全国の都道府県警察本部から報告された刑法犯認知・検挙状況を暦年で集計したものです。

**注釈**

5-12~5-15  
1) 各年1月1日~12月31日の集計。

**悪性新生物死亡者数** 年間 2万2279人 <sup>5-16</sup>/<sub>5-17</sub>  
 人口10万人当たり悪性新生物死亡者数 年間 245.9人

**指標** 神奈川県での3大死因別の第1位は「悪性新生物」、第2位が「心疾患」、第3位が「脳血管疾患」です。「悪性新生物」は、1978年に「脳血管疾患」を抜き第1位となりその後も増加傾向にあります。

2011年1年間の神奈川県の悪性新生物による死亡者は、2万2279人です。器官別の死亡者の内訳は、気管・気管支・肺が4176人、胃3108人、結腸2014人、肝臓1791人、膵臓1777人等となっています。

また、人口10万人当たりの死亡者は245.9人です。

これは、2000年の194.4人より51.5人(26.5%)多く、1970年の89.1人より156.8人(176.0%)多くなっています。

**この統計は** [神奈川県衛生統計年報]

**心疾患死亡者数** 年間 1万459人 <sup>5-18</sup>/<sub>5-19</sub>  
 人口10万人当たり心疾患死亡者数 年間 115.4人

**指標** 神奈川県で「心疾患」は、1995年から1999年まで「脳血管疾患」に次いで死因別の第3位でしたが、2000年から再び第2位となりその後も増加傾向にあります。

2011年1年間の神奈川県の心疾患による死亡者は、1万459人です。

また、人口10万人当たりの死亡者は115.4人で、2000年の83.8人より31.6人(37.7%)多く、1970年の57.7人より57.7人(100.0%)多くなっています。

**この統計は** [神奈川県衛生統計年報]

**脳血管疾患死亡者数** 年間 6831人 <sup>5-20</sup>/<sub>5-21</sub>  
 人口10万人当たり脳血管疾患死亡者数 年間 75.4人

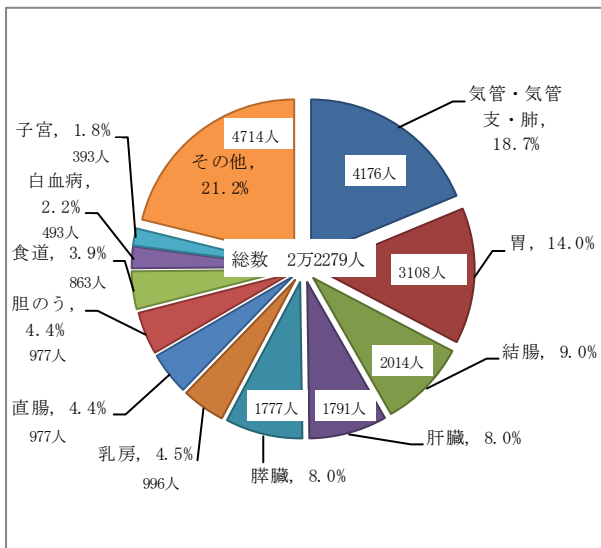
**指標** 神奈川県では、「脳血管疾患」は1977年までは死因別の第1位でしたが、1978年には「悪性新生物」に抜かれ第2位となり、2000年以降は「心疾患」にも再度抜かれ第3位となっています。

2011年1年間の神奈川県の脳血管疾患による死亡者は、6831人です。

また、人口10万人当たりの死亡者は75.4人で、2000年の81.8人より6.4人(△7.8%)少なく、1970年の110.7人より35.3人(△31.9%)少なくなっています。

**この統計は** [神奈川県衛生統計年報]

**2011年県内悪性新生物死亡者割合**



**統計情報** 神奈川県衛生統計年報

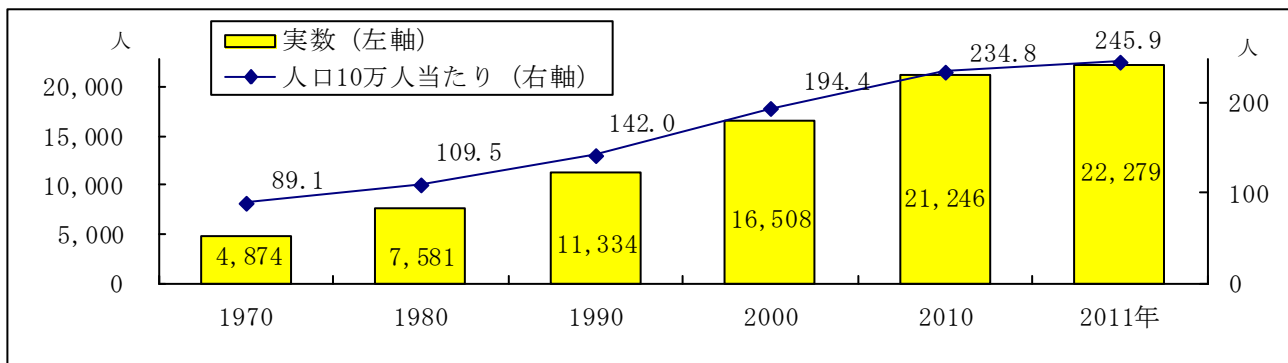
神奈川県衛生統計年報 [県健康増進課]  
 公表周期：毎年  
 神奈川県の平均余命、人口動態調査、医療施設調査等について取りまとめたものです。神奈川県のホームページでご覧いただけます。

**トピックス** 人口動態統計

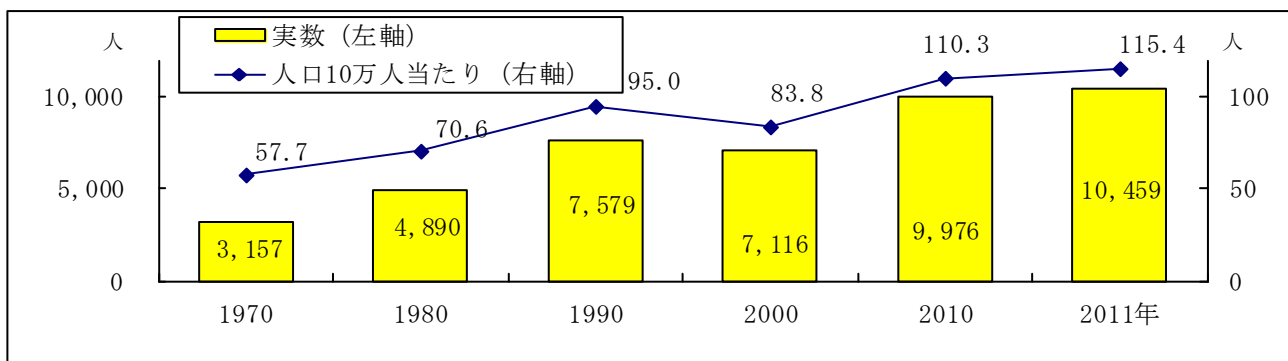
人口動態統計(月報年計)[厚生労働省]  
 公表周期：毎月  
 日本人の出生、死亡等を集計します。月次速報、月報、月報の年間合計、年報の4種類があります。



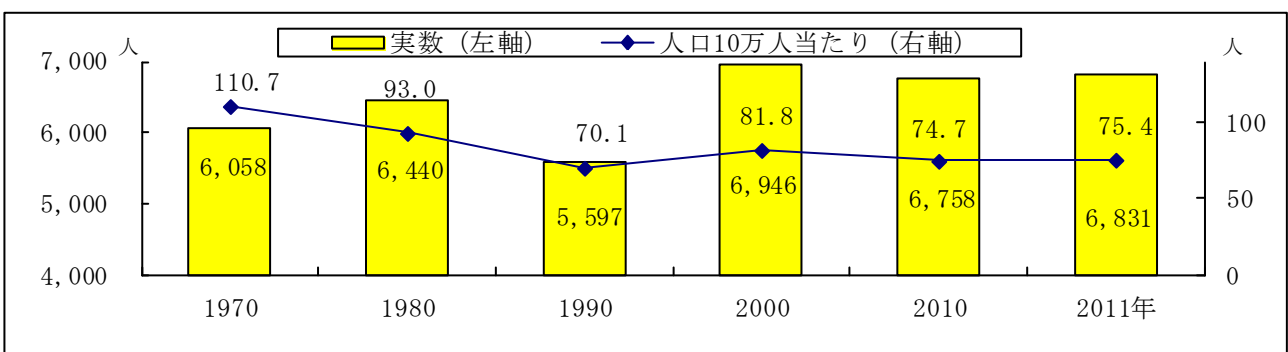
(5-16 悪性新生物死亡者数 5-17 人口10万人当たり悪性新生物死亡者数)



(5-18 心疾患死亡者数 5-19 人口10万人当たり心疾患死亡者数)



(5-20 脳血管疾患死亡者数 5-21 人口10万人当たり脳血管疾患死亡者数)



(5-16~5-21 神奈川県衛生統計年報)

**注釈**

5-16~5-21

1) 各年暦年の集計。

5-17, 5-19, 5-21 人口10万人当たり死亡者数

1) 人口10万人当たりの死亡者数は、各死因別死亡者数を総人口で除したものの。

2) 総人口は各年10月1日現在。

<b>病院数</b>	343施設	5-22 5-23
<b>人口10万人当たり病院数</b>	3.8施設	

**指標** 2010年の神奈川県内の病院数は343施設で、その内訳は一般病院296施設、精神病院47施設です。

これは2000年の362施設より19施設（△5.2%）、1990年の382施設より39施設（△10.2%）減少しています。

2010年の人口10万人当たりの神奈川県内の病院数は3.8施設です。

**この統計は** [神奈川県衛生統計年報]

<b>病院病床数</b>	7万3574床	5-24 5-25
<b>人口10万人当たり病院病床数</b>	813.1床	

**指標** 2010年の神奈川県内の病院病床数は7万3574床で、2000年の7万4807床より1233床（△1.6%）減少し、1990年の7万3381床より193床（0.3%）増加しています。

2010年の人口10万人当たりの神奈川県内の病院病床数は813.1床です。

**この統計は** [神奈川県衛生統計年報]



**統計情報** 神奈川県衛生統計年報

神奈川県衛生統計年報 [県健康増進課]  
公表周期：毎年  
神奈川県内の平均余命、人口動態調査、医療施設調査等について取りまとめたものです。神奈川県ホームページでご覧いただけます。

<b>一般診療所数</b>	6407施設	5-26 5-27
<b>人口10万人当たり一般診療所数</b>	70.8施設	

**指標** 2010年の神奈川県内の一般診療所数は6407施設です。

これは、2000年の5522施設より885施設（16.0%）、1990年の4564施設より1843施設（40.4%）増加しています。

2010年の人口10万人当たりの神奈川県内の一般診療所数は70.8施設です。

**この統計は** [神奈川県衛生統計年報]

<b>一般診療所病床数</b>	3226床	5-28 5-29
<b>人口10万人当たり一般診療所病床数</b>	35.7床	

**指標** 2010年の神奈川県内の一般診療所病床数は3226床で、2000年の5368床より2142床（△39.9%）減少し、1990年の7251床より4025床（△55.5%）減少しています。

2010年の人口10万人当たりの神奈川県内の一般診療所病床数は35.7床です。

**この統計は** [神奈川県衛生統計年報]

<b>歯科診療所数</b>	4868施設	5-30 5-31
<b>人口10万人当たり歯科診療所数</b>	53.8施設	

**指標** 2010年の神奈川県内の歯科診療所数は4868施設です。

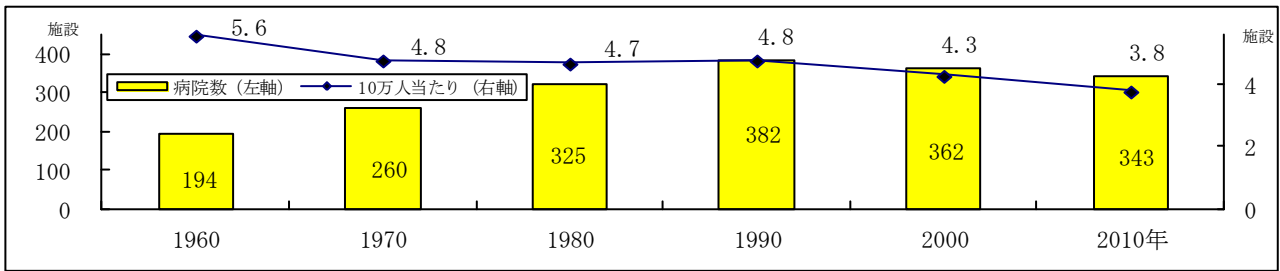
これは2000年の4290施設より578施設（13.5%）、1990年の3385施設より1483施設（43.8%）増加しています。

2010年の人口10万人当たりの神奈川県内の歯科診療所数は53.8施設で、2000年の50.5施設より3.3施設、1990年の42.4施設より11.4施設増加しています。

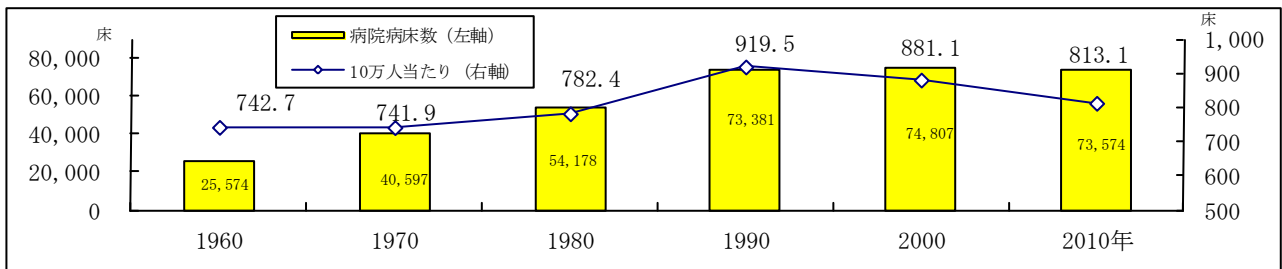
**この統計は** [神奈川県衛生統計年報]



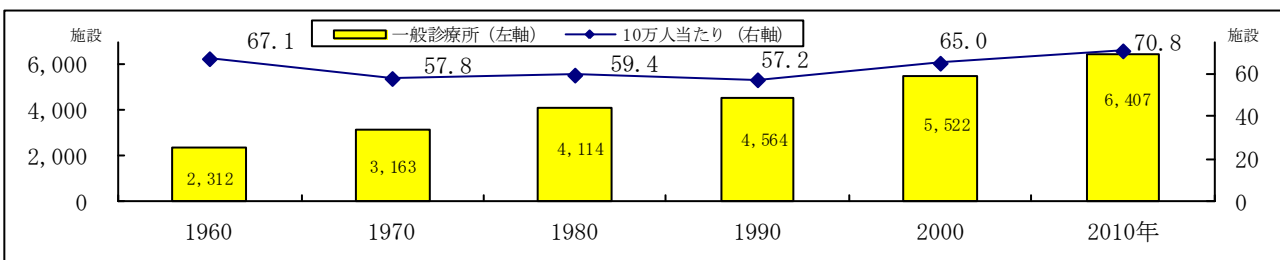
(5-22 病院数 5-23 人口10万人当たり病院数)



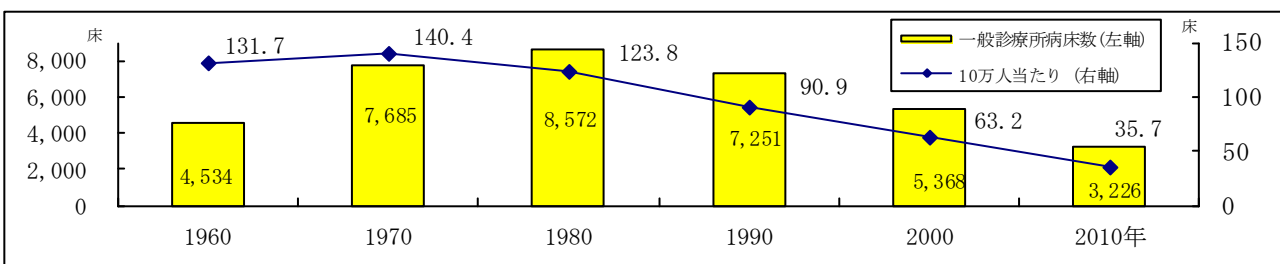
(5-24 病院病床数 5-25 人口10万人当たり病院病床数)



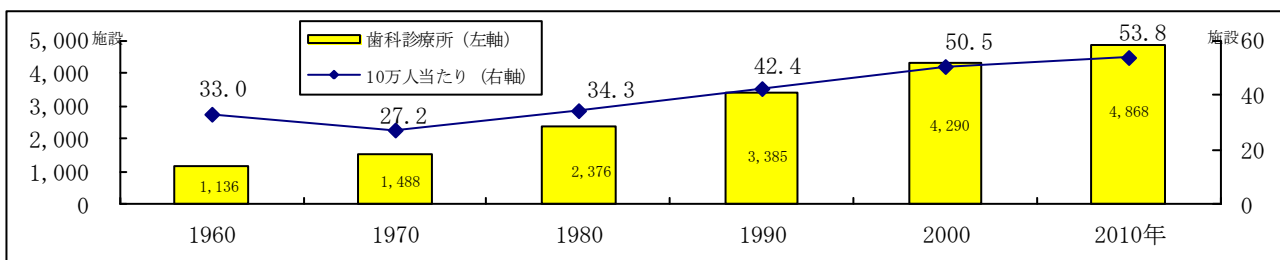
(5-26 一般診療所数 5-27 人口10万人当たり一般診療所数)



(5-28 一般診療所病床数 5-29 人口10万人当たり一般診療所病床数)



(5-30 歯科診療所数 5-31 人口10万人当たり歯科診療所数)



注釈

5-22~5-31

1) 各年10月1日現在の数値。ただし、1980年以前は12月31日現在の数値。

5-23, 5-25, 5-27, 5-29, 5-31

1) 人口10万人当たり病院数等は、病院数等を総人口で除したもの。

2) 総人口は各年10月1日現在。

(5-22~5-31 神奈川県衛生統計年報)

# 安全・医療編からのクイズ

## かながわ Q&A



Q 1 神奈川県での2011年の建物焼損棟数はおよそ何棟？

- ① 1900棟
- ② 2000棟
- ③ 2100棟

Q 2 近年の神奈川県の交通事故件数は毎年減少していますが、2011年の人口10万人当たり交通事故負傷者数は10年前の2001年と比べて約何割減少した？

- ① 約1割
- ② 約3割
- ③ 約5割

Q 3 2011年の神奈川県の刑法犯少年検挙・補導数は何人？

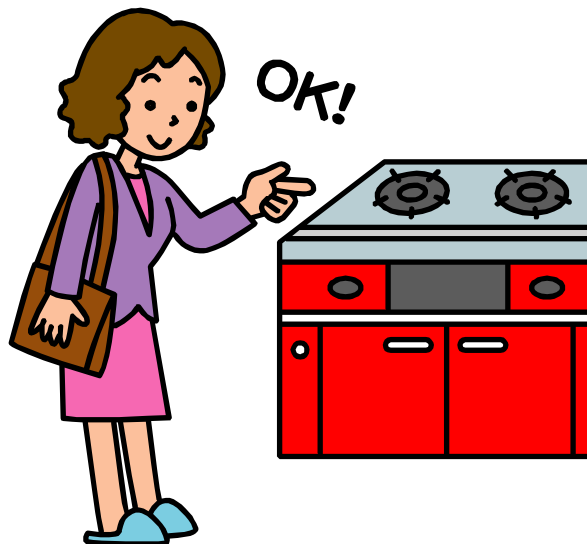
- ① 6326人
- ② 8454人
- ③ 1万900人

Q 4 2000年と2011年とを比較して、神奈川県の各死因別死亡者数のうち減少しているのは、次のどれ？

- ① 悪性新生物
- ② 心疾患
- ③ 脳血管疾患

Q 5 1960年から2010年の50年間で、神奈川県の歯科診療所数はおよそ何倍になった？

- ① 4倍
- ② 6倍
- ③ 10倍



答えは71ページ